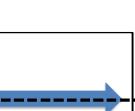
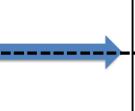
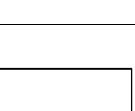
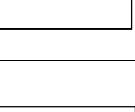
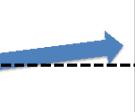
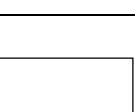
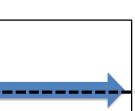
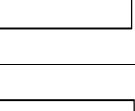
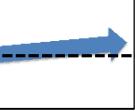
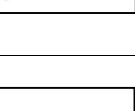
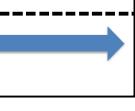


野菜の需給・価格動向レポート(平成28年1月12日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

種類	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	12月の価格情報			1月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の1月中旬までの見通し			「図の見方」 現時点の価格水準 平均価格 今後の価格水準		
		指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額					1月 上旬	中旬	下旬			
		上旬	中旬	下旬								
葉茎菜類	キャベツ	72.93	57 (78%)	53 (73%)	48 (66%)	96.86	・入荷量：13,013t ・主産地：愛知（58）、千葉（18）、神奈川（14）		<p>・愛知産は、春系が適度な降雨と気温高により前進出荷傾向である一方で、冬系が豪雨天の影響で定植が遅れたことによって出荷が後ずれし春系と冬系の出荷が重なっていることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。千葉産は、適度な降雨と気温高により、前進傾向での出荷となっており、現在平年よりやや多めの出荷であるが、今後は落ち着いた出荷となり、平年並みの出荷の見込み。神奈川産は、天候に恵まれ特段の病害はないことから生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見込み。</p> <p>・愛知産、千葉産及び神奈川産の出荷が平年よりやや多め若しくは平年並みと見込まれることから、平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。</p>			
		76.91	59 (77%)	51 (66%)	48 (62%)	92.10	・入荷量：3,389t ・主産地：愛知（41）、兵庫（12）、大阪（10）、和歌山（8）、佐賀（7）					
	たまねぎ	76.15	59 (77%)	59 (77%)	59 (77%)	76.15	・入荷量：8,549t ・主産地：北海道（90）		<p>・北海道産が、生育期の天候に恵まれ作柄も良好で、平年よりやや多めと見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。</p>			
		76.15	65 (85%)	68 (89%)	64 (84%)	76.15	・入荷量：3,338t ・主産地：北海道（70）、兵庫（28）					
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	240.04	255 (106%)	229 (95%)	240 (100%)	252.99	・入荷量：5,202t ・主産地：千葉（33）、埼玉（26）、茨城（15）、群馬（13）		<p>・千葉産は、気温高により肥大が進み太物比率が高まり、現在平年並みの出荷であるが、今後も肥大が進み太物中心の出荷に加え、作業の遅れていたものが出来されることから、平年よりやや多めの出荷の見込み。埼玉産は、生育期の天候不順の影響で生育はやや不良であることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、気温高により太りも良好で特段の病害はないことから、生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。</p> <p>・埼玉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるもの、千葉産及び茨城産の出荷が平年よりやや多め若しくは平年並みと見込まれることから、価格は引き続き平年並みに推移する見込み。</p>			
		467.01	418 (90%)	429 (92%)	437 (94%)	473.04	・入荷量：208t ・主産地：徳島（30）、奈良（15）、高知（15）、香川（12）、三重（9）					
	はくさい	40.32	31 (77%)	31 (77%)	33 (82%)	64.18	・入荷量：13,349t ・主産地：茨城（87）		<p>・茨城産は、天候に恵まれ品質が良く、特段の病害の発生もないことから生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。</p> <p>・茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に下回っていることから、引き続き平年を下回って推移する見込み。</p>			
		55.95	48 (86%)	50 (89%)	56 (100%)	68.70	・入荷量：4,031t ・主産地：茨城（19）、愛知（19）、兵庫（15）、和歌山（15）、宮崎（9）					
果菜類	ほうれんそう	385.11	429 (111%)	469 (122%)	432 (112%)	338.43	・入荷量：1,493t ・主産地：群馬（28）、茨城（24）、埼玉（19）、千葉（17）		<p>・群馬産は、気温高など天候に恵まれ、生育は順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、最近の適度な降雨と気温高により、生育は順調で引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。埼玉産は、気温高など天候に恵まれ生育は順調なことから、前進出荷傾向で、現在は平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は出荷の谷間となることが見込まれ、平年よりやや少なめの出荷の見込み。</p> <p>・群馬産及び埼玉産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや少なめと見込まれるもの、茨城産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。</p>			
		461.74	508 (110%)	538 (117%)	563 (122%)	375.38	・入荷量：546t ・主産地：徳島（51）、福岡（26）、群馬（9）					
	レタス (結球)	233.85	158 (68%)	184 (79%)	181 (77%)	233.85	・入荷量：6,623t ・主産地：静岡（30）、香川（12）、兵庫（12）、福岡（7）、千葉（7）、熊本（6）、茨城（5）		<p>・静岡産は、天候に恵まれ生育は順調である一方で、気温高により規格外品の発生が多いことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。香川産及び兵庫産は、これまでの前進出荷の影響と気温高で規格外品の発生が多いこともあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。</p> <p>・静岡産の出荷が平年並みと見込まれるもの、香川産及び兵庫産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、12月下旬から値を上げ、現在概ね平年並みとなっている価格は、平年を上回って推移する見込み。</p>			
		226.75	161 (71%)	189 (83%)	202 (89%)	226.75	・入荷量：920t ・主産地：兵庫（49）、徳島（22）、長崎（10）、香川（9）					
	きゅうり	370.98	510 (137%)	410 (111%)	516 (139%)	370.98	・入荷量：4,996t ・主産地：宮崎（41）、千葉（21）、高知（20）		<p>・宮崎産は、天候に恵まれ特段の病害もないことから生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。高知産は、天候に恵まれ特段の病害もないことから生育は順調で、現在平年並みの出荷であるが、今後は気温高により増加が見込まれ、平年よりやや多めの出荷の見込み。千葉産は、11月の日照不足などの影響で生育はやや不良となっていたが、徐々に回復傾向ではあるものの、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。</p> <p>・千葉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるもの、宮崎産及び高知産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、1月に入り値を下げ平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。</p>			
		350.33	492 (140%)	391 (112%)	482 (138%)	350.33	・入荷量：1,079t ・主産地：宮崎（47）、高知（21）、徳島（18）					
	トマト (大玉)	349.23	254 (80%)	293 (84%)	344 (99%)	349.23	・入荷量：5,063t ・主産地：熊本（45）、愛知（15）、栃木（14）、静岡（5）、千葉（5）、宮崎（4）		<p>・熊本産は、成り疲れから玉太りが鈍く、現在平年よりやや少なめの出荷であるが、今後は最近の天候に恵まれ玉伸びが良好で、出荷の回復が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。愛知産は、成り疲れと前進出荷の影響から、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。</p> <p>・愛知産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるもの、熊本産及び栃木産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在概ね平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。</p>			
		326.61	249 (74%)	287 (88%)	350 (107%)	326.61	・入荷量：916t ・主産地：熊本（73）、愛知（8）					
	なす	389.03	421 (108%)	442 (114%)	441 (113%)	389.03	・入荷量：2,035t ・主産地：高知（64）、福岡（16）		<p>・高知産は、天候に恵まれ生育は順調で特段の病害もないことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。福岡産は、日中の気温と夜温が高く、花落ちの影響が残っていることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。</p> <p>・高知産の出荷が平年並みと見込まれるもの、福岡産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、1月に入り値を下げ平年並みの価格は、平年を上回って推移する見込み。</p>			
		397.74	428 (108%)	426 (107%)	429 (108%)	397.74	・入荷量：338t ・主産地：高知（37）、熊本（29）、福岡（19）、岡山（11）					
根菜類	ビーマン	378.83	372 (98%)	507 (134%)	563 (149%)	578.80	・入荷量：1,539t ・主産地：宮崎（52）、高知（21）、鹿児島（15）、茨城（11）		<p>・宮崎産は、最近の日照も多く生育が促進されたこともあり、少なめの出荷から一時的に平年並みの出荷に回復したが、今後は前進出荷の影響もあり、平年よりやや少なめの出荷の見込み。高知産は、最近の天候に恵まれ、病害もなく生育は順調なことから、今後も引き続き平年並みの出荷の見込み。鹿児島産は、成り疲れなどから現在平年よりやや少なめ出荷となっているが、今後は回復が見込まれることから平年並みの出荷の見込み。</p> <p>・高知産及び鹿児島産の出荷が平年並みと見込まれるもの、宮崎産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、概ね平年並みの価格は、平年を上回って推移する見込み。</p>			
		371.29	371 (100%)	524 (141%)	558 (150%)	565.30	・入荷量：336t ・主産地：宮崎（48）、高知（23）、鹿児島（14）					
	だいこん	67.55	44 (65%)	49 (73%)	51 (75%)	79.03	・入荷量：12,920t ・主産地：神奈川（52）、千葉（38）		<p>・千葉産は、最近の適度な降雨と気温高から肥大が進み、太物の発生率が高まり、生育は順調であるものの、下等級品の出荷自粛を行っていることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。神奈川産は、天候に恵まれ特段の病害もなく生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。</p> <p>・千葉産及び神奈川産の出荷が平年よりやや少なめ若しくは平年並みと見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年に近づくものの、現在平年を大幅に下回っていることから、引き続き平年を下回って推移する見込み。</p>			
		76.48	50 (65%)	53 (69%)	57 (75%)	80.47	・入荷量：3,109t ・主産地：長崎（31）、徳島（22）、鹿児島（22）、和歌山（21）					
	にんじん	105.86	87 (82%)	82 (77%)	87 (82%)	111.16	・入荷量：6,674t ・主産地：千葉（86）		<p>・千葉産は、最近の適度な降雨と気温高により生育は順調で肥大が進み、太物傾向となっていることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。</p> <p>・千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年</p>			

種類		12月の価格情報			1月 (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の1月中旬までの見通し										
		指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価額					「図の見方」										
		上旬	中旬	下旬			現時点の価格水準			今後の価格水準							
いも類	さといも	220.97	269 (122%)	295 (134%)	293 (133%)	228.85	・入荷量：730t ・主産地：埼玉（36）、千葉（33）		<p>埼玉産は、作柄は概ね平年並みで、現在貯蔵物からの出荷となっており、今後は計画的な出荷となることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、現在残量が少なく平年より少なめの出荷となっており、今後も引き続き平年より少なめの出荷の見込み。</p> <p>埼玉産の出荷が平年並みと見込まれるもの、千葉産の出荷が平年よりやや少ないと見込まれることから、価格は引き続き平年を上回って推移する見込み。</p>								
		217.56	306 (141%)	316 (145%)	345 (159%)	219.65	・入荷量：184t ・主産地：愛媛（65）、熊本（15）、宮崎（14）、輸入（5）、奈良（1）										
	ばれいしょ	96.99	88 (91%)	88 (91%)	90 (93%)	96.99	・入荷量：8,326t ・主産地：北海道（63）、長崎（27）		<p>北海道産が、生育期の天候に恵まれ作柄も良好だったことから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。長崎産は、生育期などに天候不順の影響から小玉傾向となっていることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。</p> <p>長崎産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるもの、北海道産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。</p>								
		96.99	89 (92%)	86 (89%)	86 (89%)	96.99	・入荷量：2,158t ・主産地：北海道（65）、長崎（28）										

注：1 平均価格は、過去6年間の中卸市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
 2 旬別平均販売価額の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
 4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5年平均の数値である。
 5 主産地は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年見込、近畿は前年実績。
 6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
 7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

種類		12月の価格情報			1月 (参考)過去5年平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の1月中旬までの見通し										
		東京・大阪市場の旬別価格					「図の見方」										
		上旬	中旬	下旬			現時点の価格水準			今後の価格水準							
洋菜類	ブロッコリー	313.68 (77%)	241 (60%)	188 (66%)	208 (66%)	392.30	・入荷量：1,908t ・主産地：愛知（35）、香川（21）、埼玉（14）、長崎（6）、輸入（6）、福岡（5）、群馬（5）		<p>愛知産は、生育は順調で前進出荷傾向となっており、特段の病害の発生も見られないことから、平年並みの出荷の見込み。香川産は、適度な降雨と気温高により生育は順調で前進出荷の影響で現在平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は落ち着き平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、気温高の影響による前進出荷傾向で現在平年よりもやや多めの出荷となっているが、今後はこれまでの前進出荷の影響から平年よりもやや少なめの出荷の見込み。</p> <p>愛知産、香川産及び埼玉産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや少なめと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に下回っていることから、引き続き平年を下回って推移する見込み。</p>								
		376.05 (72%)	272 (52%)	194 (56%)	212 (56%)	425.72	・入荷量：455t ・主産地：徳島（35）、鳥取（13）、長崎（11）、和歌山（10）、香川（8）										
	かぶ	114.51 (84%)	96 (94%)	108 (100%)	115 (100%)	153.79	・入荷量：1,439t ・主産地：千葉（86）、埼玉（10）		<p>千葉産は、適度な降雨と気温高により前進出荷傾向で生育は順調なことから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。</p> <p>千葉産の出荷が平年より多めと見込まれることから、現在平年並み価格は、平年を下回つて推移する見込み。</p>								
		125.22 (85%)	107 (96%)	120 (105%)	132 (105%)	139.51	・入荷量：263t ・主産地：徳島（41）、福岡（28）、石川（16）、奈良（10）										

注：1 平均価格は、過去5年間(平成22年から26年)の東京及び大阪市中央卸売市場の価格。
 2 旬別価格は、上段は東京中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
 3 旬別価格の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景色は平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
 4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5年平均の数値である。
 5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで前年実績である。
 6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

野菜の需要動向		生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)						主要野菜の小売価格(東京都区部)								
		生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)			主要野菜の小売価格(東京都区部)											
		年	過去5年平均	平成26年	平成27年	年	キャベツ	トマト	だいこん	ばれいしょ	年	キャベツ	トマト	だいこん	ばれいしょ	
家計調査によると、11月の野菜の購入量は、生鮮野菜が、5万2千トン(前年同月比102%)、加工野菜が14万7千トン(同113%)、野菜全体では、19万8千トン(同110%)となった。		年	過去5年平均	平成26年	平成27年	年	キャベツ	トマト	だいこん	ばれいしょ	年	キャベツ	トマト	だいこん	ばれいしょ	
また、小売物価統計によると、12月のキャベツの小売価格は、134円(過去5年平均比78%)、トマトは596円(同86%)、だいこんは108円(同83%)、ばれいしょは303円(同97%)となり、各品目で平年を下回っている。		区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	平成27年	
		購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	平年比	購入数量(g)	平年比	購入数量(g)	平年比	購入数量(g)	平年比	購入数量(g)	平年比	
		1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	102	1,755	107						
		2月	4,485	1,666	4,646	1,742	4,609	103	1,761	106						
		3月	4,868	1,811	4,958	1,878	4,921	101	1,939	107						
		4月	4,765	1,855	4,871	1,887	4,693	98	2,070	112						
		5月	5,089	1,917	5,146	1,993	4,968	98	2,257	118						
		6月	5,056	1,902	4,998	1,976	5,044	100	2,157	113						
		7月	4,402	1,737	4,542	1,770	4,353	99	1,966	113						
		8月	4,315	1,731	4,275	1,846	4,240	98	1,998	115						
		9月	4,688	1,844	4,745	2,035	4,836	103	2,143	116						
		10月	5,191	1,902	5,455	1,973	5,400	104	2,170	114						
		11月	4,990	1,700	5,291	1,704	5,303	106	1,809	106						
		12月	5,146	1,927	5,233	1,977										

資料：総務省「家計調査報告